

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号 1 4 白井市男女共同参画計画策定事業（市民活動支援課）

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
令和6年度の審議会において、公募委員は5人なのか6人なのか、双方の記載があるため、どちらなのか教えてください。	公募委員は6名であったが、市内在勤の委員が任期途中で要件を満たさなくなったため、本人からの辞退の申し出があったことから、会議開催時点では公募委員が5名となった。
令和6年度と令和7年度で会議回数が異なっている理由を教えてください。	令和6年度は例年の議題に加えアンケートやワークショップの検討と結果報告のため例年並みの2回の会議で実施できたが、令和7年度は策定方針や課題、将来像など議論を要する議題が多かったため会議回数が4回と多くなった。
【アンケート調査に関する質問】	
中学2年生を対象とした理由を教えてください。	3年生は受験生であるため多忙であること、1年生にはアンケート調査の趣旨を理解することが難しいと考えられることなどを勘案し、比較的アンケートの趣旨を理解できると考えられる中学2年生を対象とした。
【ワークショップに関する質問】	
自己評価で参加者の年齢に偏りがあり、参加人数も少なかったとしているが、今後の実施に向け、参加者を増やす方法や周知方法、テーマ設定について、どのように考えているか教えてください。	計画の見直しのためのワークショップであることが伝わりにくかったため、今後は、目的を明確化する必要がある。周知方法については、広報、メール、SNS、教育委員会を通じての保護者への通知、自治会への配布など取り得る方法で行ったため適切だったと考えるが、反応がよくなかったため、今後、より興味を引くテーマや、参加することで得られるメリットの提示などを検討していく必要がある。 参加者層については40代以上の方が多くなったため、地域の高校や協定を締結している大学と連携し学生に周知していただくことで若い層に参加していただくことが考えられる。